

天の川が消える日

私たちは天の川銀河（あるいは銀河系）という、ひとつの銀河に住んでいます。大きさは10万光年、太陽のような星の数が約2000億個、つまり、巨大で、重たいシステムです。現在の宇宙の年齢は138億歳ですが、銀河の種は宇宙年齢が2億歳の頃生まれたと考えられています。したがって、天の川銀河の年齢はだいたい136億歳になります。綺麗な渦巻銀河に育った天の川銀河ですが、このまま安泰というわけにはいきません。今から数十億年後には隣にあるアンドロメダ銀河と合体して、ひとつの巨大な丸い銀河になってしまいます。驚くべきことですが、天の川が消える日がやってくるのです。皆さんと一緒に銀河の来し方と行方について考えてみることにしましょう。

日時／2019年 **8月31日** (土)
10:00～12:00 (受付:9:30～)

会場／北九州市立
生涯学習総合センター3階ホール
(北九州市小倉北区大門1-6-43)

定員／**150名** (参加無料)

どなたでも参加できます。事前申込が必要です。
定員になり次第締め切りとなります。

申し込み・問い合わせ

2019年7月16日(火)より、電話にて受け付けます。(平日9:00～17:00)

北九州市立生涯学習総合センター
電話:093-571-2735



宇宙物理学／銀河天文学／
光学・赤外線天文学

主として銀河や巨大ブラックホールの誕生と進化の研究をしてきています。暗黒物質(ダークマター)の宇宙における分布や、銀河の織りなす宇宙の大規模構造の研究もしているため、広い意味での観測的宇宙論が専門分野になります。

演題「天の川が消える日」
講師:放送大学教授 谷口義明 氏

